

浦添市まちづくりプラン

未来を守る本物の森づくり プロジェクト

**=小学校樹木調査
・緑の学習会=**

**今回実施した学校：
神森小学校・内間小学校・
沢岬小学校**

うらそえグリーンベルトプロジェクト

2021年(令和3年) 2月21日 日曜日 市町村 (26)

「自然豊かな仲西小に」 浦添 市民団体が「緑の学習会」

【浦添】次世代に持続可能な緑化環境を残そうと活動する市民団体「うらそえグリーンベルトプロジェクト」(高良恒己会長)は1月29日、活動の一環として市立仲西小学校で「緑の学習会」を開いた。同小学校区緑の少年団の団員や保護者らが参加した。

会では、同団員らが昨年2月に種まきをしたドンガラが実る木、アマミアラカシの鉢替えを行った。団員らは「学校にある木みたいは大きく丈夫な木になつてほしい」「大切に育てて方

仲西小学校区緑の少年団の団員と「うらそえグリーンベルトプロジェクト」のメンバーら11月29日、浦添市の同小(同プロジェクト提供)

美ら島だより

ブトムシやクワガタムシが住めるような木になつてほしい」などと話していた。同プロジェクトは、市内の小・中学校の敷地内に生息する樹木の植生や在来種の生息状況、地質などの調査を実施し、6校の調査を終えた。

緑がある環境の大切さを子どもたちに身近に感じてほしいと、調査結果を踏まえて樹木の名前や特性などを紹介する動画制作に取り組んでいる。各学校へ寄贈する予定だ。

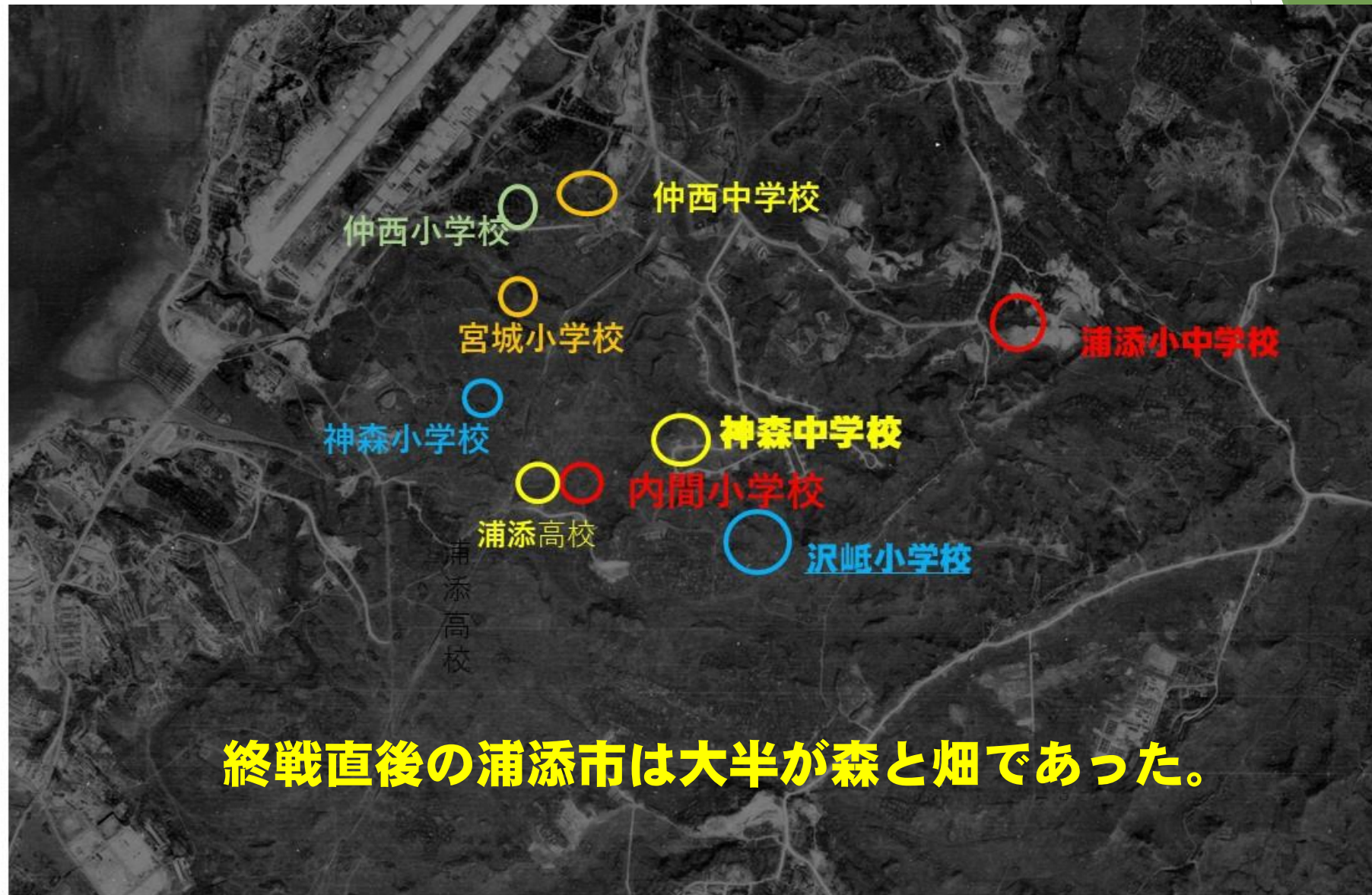
(中川廣江通信員)

事業計画の変更

- ▶ 当初の事業計画は、**市内 3 小学校**を訪問し、樹木の調査・分析及び**緑の学習会**の開催を予定していたが、コロナの影響で学校訪問が厳しい状況となり、下記のとおり計画を**変更**。
- ▶ (1) 対象者：学校関係者、児童生徒及び保護者
- ▶ (2) 実施場所：神森小学校、内間小学校、沢岷小学校
- ▶ (3) 内容
 - ▶ ①学校内の樹木等の調査：学校内及び学校周辺の樹木等の調査
 - ▶ ②調査分析の結果の取りまとめ及び報告書の作成
 - ▶ ③緑の学習会：仲西小学校区緑の少年団
 - ▶ ④学校の緑に関する説明用映像の作成及び提供
子ども達がいつでも学校で学習ができるよう学習用映像を作成し学校に提供。
 - ▶ ⑤カブトムシの森づくり育樹祭の開催

各学校の位置図

1945年頃



各学校の位置図

2010年



浦添域の土地的極相林とは

植物社会学・潜在自然
植生的に推論

1 浦添市域の極相林種の生態的最適域分類

ガジュマル林ーハマイヌビワ林・・・露岩地、崖地

タブノキ林・・・湿潤地、肥沃地

ヤブニッケイ林・・・乾燥地、肥沃地の中間的土壤

アマミアラカシ林・・・乾燥地、貧養地

2 調査地の土地的極相林の推定

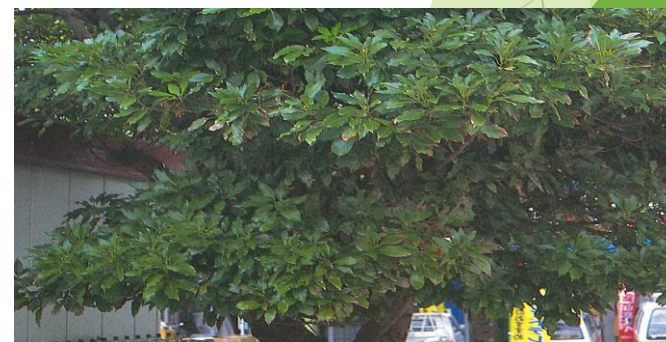
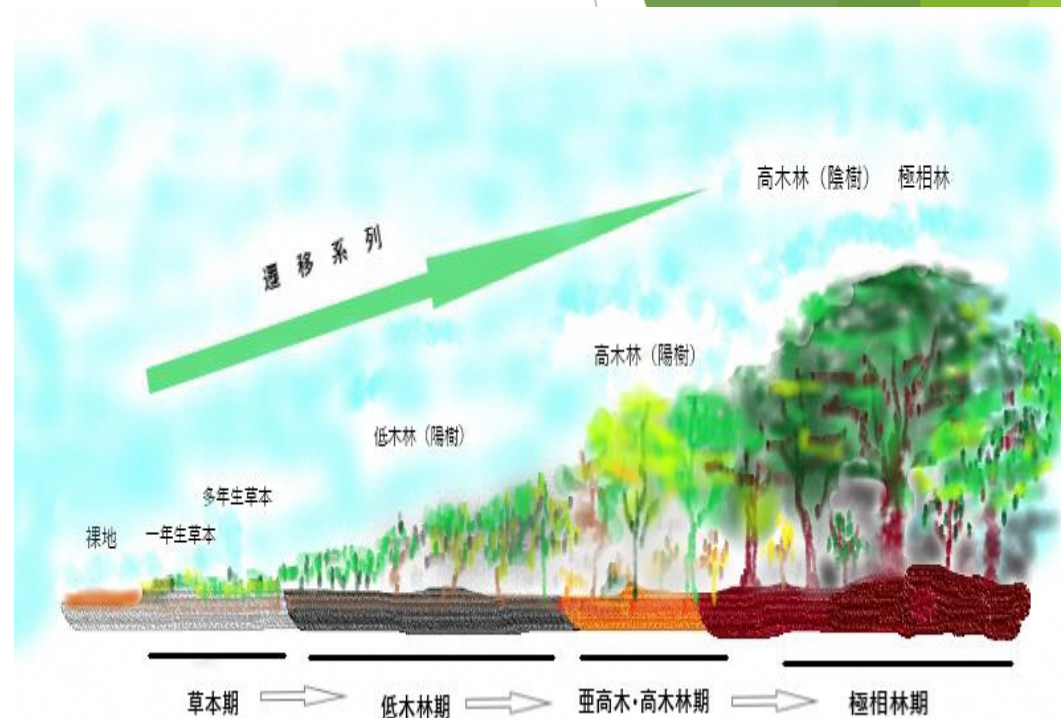
神森小学校・・・アマミアラカシ、ヤブニッケイ、タブノキ

内間小学校・・・ヤブニッケイ、タブノキ

沢岬小学校・・・ヤブニッケイ



アマミアラカシ

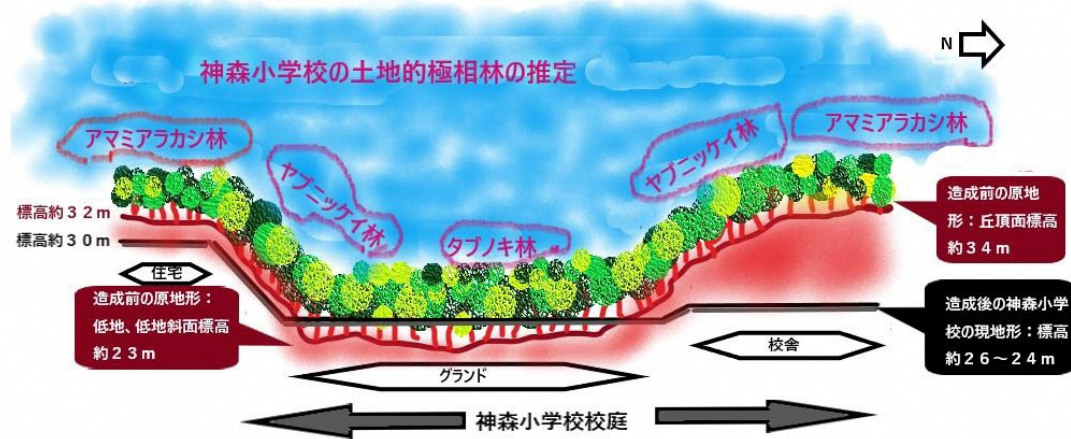


タブノキ

神森小学校の調査結果

樹木調査結果

- (1) 調査日時：令和2年11月14日
- (2) 調査箇所：学校内及び学校周辺
- (3) 推定土地的極相林：アマミアラカシ林、ヤブニッケイ林、タブノキ林



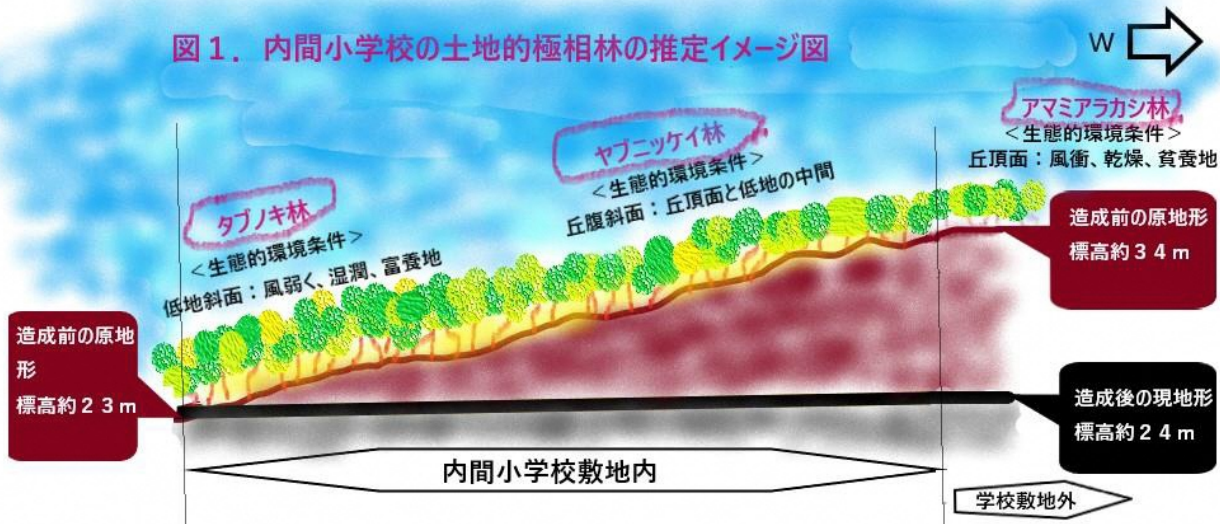
内間小学校の調査結果

樹木調査結果

- (1) 調査日時：令和2年12月26日
- (2) 調査箇所：学校内及び学校周辺
- (3) 推定土地的極相林：ヤブニッケイ林、タブノキ林



図1. 内間小学校の土地的極相林の推定イメージ図



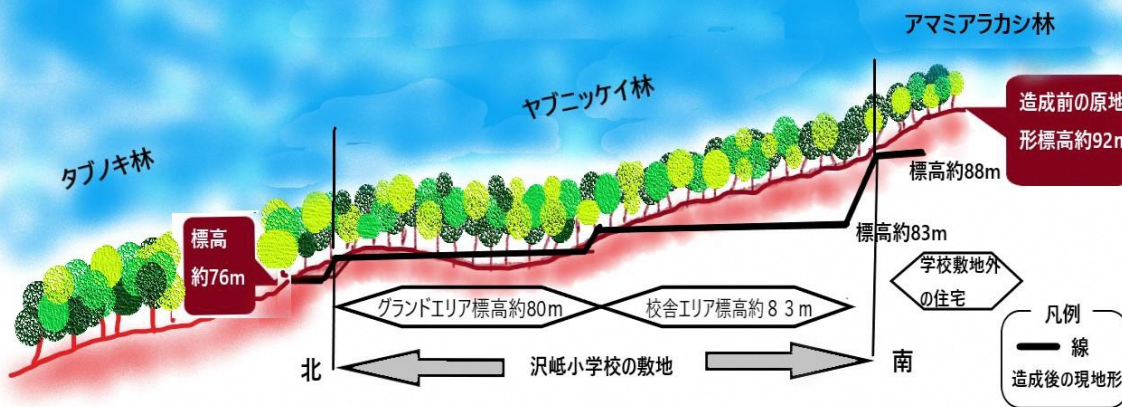
沢岷小学校の調査結果

樹木調査結果

- (1) 調査日時：令和2年10月31日
11月7日
- (2) 調査箇所：学校内及び学校周辺
- (3) 推定土地的極相林：ヤブニッケイ林、



沢岷小学校域の土地的極相林の推定イメージ図



仲西小学校の緑の学習会

(1) 日時：令和3年1月29日

(2) 参加者：児童生徒7名、
保護者1名、グリプロ5名

(3) 内容：アマミアラカシ苗の鉢替

(4) 参加した子どもたちの声：

- ・ 大きく育ったらドングリの実を使ってパンを作りたい。
- ・ 土いじりが楽しかった。
- ・ 大変だったけど楽しかった。大切に育てていきたい
- ・ カブトムシやクワガタムシが住めるような木になって欲しい。
- ・ 自分が大きくなったら、子どもに自分が育てたんだよと語ってあげたい。
- ・ 雑草取りの時虫がいたのでビックリした
- ・ 鉢植えした木は今の学校の木みたいに大きくなって欲しい。

仲西小学校の緑の学習会風景



カブトムシの森育樹祭

(1) 日時：令和3年2月27日

(2) 参加者：児童生徒8名、
グリプロ7名 その他大人7名

(3) 内容：令和元年5月に植栽したシマトネリコの育樹作業（施肥）

(4) 参加した子どもたちの声：

- ・ ミミズが出てきて面白かった。
- ・ 普段したことがないのでとても良い経験になった。
- ・ 将来が楽しみ。見てみたい。
- ・ 自分が植えた木が育っているのを見て嬉しかった。
- ・ カブトムシが来るのが楽しみ。

育樹祭の風景



カブトムシの森
目指して育樹祭
浦添・カルチャーパーク
【浦添】カブトムシの森
づくり育樹祭（浦添市子ど
も会育成連絡協議会・うら
そえグリーンベルトプロジ
ェクト主催）がこのほど、
浦添市仲間の市カルチャー
パーク内で行われた。市内
の子ども会メンバーや緑の

少年団の団員、関係者らが
参加し、カブトムシが好む
とされるモクセイ科のシマ
トネリコ約40本に肥料を与
えるなどの育樹作業をした
。写真（提供）。
森づくりは、2019年
5月に始まった。市内の緑
化活動の一環で、植物の生
命を次世代へつなぐ豊かな
森をつくらうと植樹祭を開
催。育樹作業は19年11月に

続き、今回で2回目。シマ
トネリコは順調に成長し、
植樹した当初約30センチの苗木
が、現在は平均で1・2メートル、
大きいものでは約2メートルの高
さまで成長している。
参加した子どもたちは
「自分で植えた木が大きく
育っているのを見てうれし
かった」などと感想を述べ
た。
（中川廣江通信員）

学校の緑に関する学習用映像作成

(1) 対象校：仲西小学校、神森小学校、内間小学校、沢岬小学校

(2) 作成方針：

- ①学校の歴史的映像の導入
 - ②現在学校内樹木の紹介
 - ③木の利用の紹介
 - ④かつての森の姿を推定
 - ⑤沖縄の森の生き物たちの紹介
 - ⑥児童生徒の映像
- 等々

(3) 学校の感想等：

- ①次年度の総合学習等に使いたい
- ②学校の周年事業などにも使いたい
- ③環境学習用教材として使いたい





令和2年度の総括

- **コロナの影響により計画が変更され暗中模索での活動を余儀なくされた。**
- **一方で、映像作成という非接触型の伝達方法を取り入れたことにより、より内容を充実させ、作成した資料が長期間に亘って提供先の学校に利用されていくという可能性を引き出したことは大きな成果。**
- **コロナ禍の影響により人間の自然免疫力が注目され、自然度が高いほど免疫力のアップが報告されている。潜在的な自然植生を目指すグリプロの活動と基軸を同じにするものであり、社会的要請に応えるためにもグリプロの活動の重要性が増していくものと期待される**
- **学校側とのコミュニケーションが比較的スムーズに進行し、次年度の令和3年度に一部の学校の総合学習でグリプロが関わっていくことが確認されたことも大きな成果。**

収 支 精 算 書

事業の名称	未来を守る本物の森づくりプロジェクト
団 体 名	うらそえグリーンベルトプロジェクト

収入

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減額 (決算－予算)	説明
自己資金	5,000	0	-5000	経費節減により
助成金	500,000	500,000	0	委託料
合計	505,000	500,000	-5000	経費節減

支出

単位：円

科目	予算額	決算額		比較増減額 (決算－予算)	説明
			うち助成対象		
委託料	505,000	500,000	500,000	0	経費節減
合計	505,000	500,000	500,000	0	